

基本方針5 生きがいつくりと社会参加の促進

1 生きがい活動の推進

(1) 老人福祉センター

【現状】

老人福祉センターは、60歳以上の高齢者が入浴・休憩できるとともに、囲碁・将棋やカラオケ等の娯楽を楽しみ、各種の教室に参加して教養を高めるなど、生きがいつくりや社会参加の促進を図るための施設です。市内には、馬渡荘，大島荘，高場荘，みなと荘，金上荘，津田老人いこいの家の6か所の施設があります。

(表 4-124) 老人福祉センター利用状況

(単位：人)

施設名		平成20年度	平成21年度	平成22年度
馬渡荘	市内	16,996	16,538	15,109
	市外	8	5	5
	合計	17,004	16,543	15,024
	1日平均	58	57	54
大島荘	市内	22,726	22,052	20,937
	市外	55	34	43
	合計	22,781	22,086	20,980
	1日平均	77	75	75
高場荘	市内	16,340	16,537	15,450
	市外	74	106	226
	合計	16,414	16,643	15,676
	1日平均	56	57	57
みなと荘	市内	17,499	17,129	16,279
	市外	5	2	5
	合計	17,504	17,131	16,284
	1日平均	60	59	59
金上荘	市内	9,978	8,022	7,371
	市外	17	29	42
	合計	9,995	8,051	7,413
	1日平均	34	28	27
津田老人いこいの家	市内	8,753	8,977	7,594
	市外	167	104	66
	合計	8,920	9,081	7,660
	1日平均	30	31	28
市内		92,292	89,255	82,640
市外		326	280	387
合計		92,618	89,535	83,037
1日平均(1館当たり)		315	307	300

【今後の方針】

指定管理者制度の活用により、高齢者の生きがいがづくりや健康増進、教養を高めるための事業の充実による利用の促進に努め、効率的な運営を行います。

(2) 高齢者クラブ

【現状】

60歳以上の希望者が高齢者クラブを組織し、スポーツ、ボランティア活動、研修・文化活動など通して、仲間との親睦や地域社会との交流を図るとともに、社会福祉活動、環境美化などを行っています。各クラブ単位での活動のほか、高齢者クラブ連合会でも活動しており、これらの活動に対し、補助金を交付し支援しています。

(表 4-125) 高齢者クラブの状況

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
単位クラブ数 (人)	72	72	74	73
会員数 (人)	3,882	3,895	4,009	3,975
加入率 (%)	9.7	9.5	9.2	8.9

※ 平成 23 年度は 9 月末現在

加入率は 60 歳以上人口比率

【今後の方針】

高齢者クラブの活動に対し、継続して支援していきます。

(3) 高齢者ふれあいサロン

【現状】

高齢者の閉じこもり予防、生きがいの場の提供等を目的に、高齢者と地域住民が気軽に集い、高齢者相互及び多世代間の交流を深める活動を行う又は行おうとする団体の開設に要する経費や新規に取り組む事業に対し、補助金を交付し支援しています。

(表 4-126) 実施状況

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
交付団体数 (団体)	2	4	2	1

※ 平成 23 年度は 9 月末現在

【今後の方針】

高齢者サロンを実施する団体に対し、継続して支援していきます。

(4) ハーモニーセンター

【現状】

市毛ハーモニーセンターは、県営もみじが丘アパートの住民及びその近隣住民に交流や活動の場を提供し、高齢者の生きがいをづくりを目的に各種講座を開催しています。

(表 4-127) 実施状況

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
講座実施回数 (回)	83	83	83	83
受講者数 (人)	1,164	1,303	1,197	—

※ 平成 23 年度は講座実施予定回数

【今後の方針】

今後も、指定管理者制度の活用により、高齢者のニーズを踏まえた事業実施による利用の促進に努め、効率的な運営を行います。

(5) ワイワイふれあい館

【現状】

地域住民の健康づくりや生きがいをづくり、高齢者や児童等との世代間のふれあい交流活動を提供する場として地域住民が運営するワイワイふれあい館を支援しています。

(表 4-128) 実施状況

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
利用人数 (人)	8,279	8,751	8,879	4,495

※ 平成 23 年度は 9 月末現在

【今後の方針】

高齢者が健康で生きがいをもって生活を送ることができるよう、地域における生きがいをづくりや社会参加を促進するため、継続して支援していきます。

(6) 総合老人保健センター「ひぬま荘」

【現状】

「水戸地方広域市町村圏総合老人保健センターひぬま荘」は、昭和 49 年に設立され、高齢者の保養等の場として、また、高齢者相互の親睦や健康の増進を図るために利用されてきましたが、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により施設が甚大な被害を受けたことにより、平成 23 年 9 月 30 日をもって閉館となりました。

2 敬老事業

(1) 敬老会

【現状】

多年にわたり社会に貢献してきた75歳以上の高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、高齢者福祉の増進を図るため、自治会等が敬老会を開催しており、その費用の一部を助成しています。

(表 4-129) 実施状況

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
対象人数 (人)	12,664	13,293	13,922	14,487
金 額 (千円)	37,992	39,879	41,766	43,461

※ 平成 23 年度は 9 月末現在

【今後の方針】

自治会等の敬老会主催団体に対して、継続して支援を行います。

(2) 敬老祝金

【現状】

77歳に1万円、88歳に2万円、100歳に5万円の敬老祝金を支給しています。

(表 4-130) 実施状況

区 分		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
対象人数 (人)	77 歳	1,105	1,185	1,243	1,304
	88 歳	399	412	415	481
	100 歳	18	17	11	24
	合計	1,522	1,614	1,669	1,809
金 額 (千円)		19,930	20,940	21,280	23,860

【今後の方針】

引き続き、支給していきます。

3 社会参加の促進

(1) 高齢者の就労支援

【現状】

高齢者の就労支援については、「生きがいのための就労」という視点にたつて、社団法人ひたちなか市シルバー人材センターに対して運営費等の一部を補助し活動を支援しています。

〔シルバー人材センター〕

シルバー人材センターは、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づいて設置されている団体で、その目的は、定年退職者等の高齢者に臨時的かつ短期的又はその他の軽易な就業を提供するとともに、ボランティア活動を始めとする様々な社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活の実現、地域社会の福祉の向上及び活性化に貢献しようとするものです。

ひたちなか市シルバー人材センターでは、一般家庭の清掃や除草作業、大工仕事、塗装作業、襖・障子張り、民間企業や公共団体等の屋内外の作業や施設管理等を受託しています。独自事業としては、資源の再利用を目的とする「自転車再生事業」、小学生に学習の楽しさや面白さを教える「おさらい教室」、市内を巡回しての「刃物研ぎ事業」、高齢者や身体障害者、介護施設等で整髪が受けられない方々への「出張利用事業」のほか、「墓地清掃管理事業」、「きもの着付け訪問サービス」など、市民サービスの向上と社会貢献を目的とした事業を実施しています。

また、高齢社会に対応するため、ひとり暮らし高齢者や高齢者だけの世帯を対象に、食事作りや清掃等の軽度生活援助、外出時の援助や話し相手等の介護予防支援、除草や季節用品の入れ替え等の軽易な住環境向上等のサービスを柱とする「高齢者生活援助サービス事業」を展開しています。

ボランティア活動としては、勝田駅東口・西口広場の樹木選定や清掃美化活動、阿字ヶ浦海岸や磯崎海岸の清掃活動に会員が一人丸となって毎年実施しています。

今後は、団塊の世代の入会促進により会員の増強を図り、就業拡大のための広報活動や就業開拓活動に積極的に取り組み、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、センターは高齢者の雇用・就業対策を推進する中核として役割を果たしていきます。

(表 4-131) 実施状況

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
会 員 数 (人)	1,486	1,487	1,412
就 業 件 数 (件)	6,294	6,106	6,138
契約金額 (千円)	698,866	613,139	605,992
就業実人員 (人)	1,115	1,072	1,052
就 業 率 (%)	75.0	72.1	74.5

【今後の方針】

引き続き、シルバー人材センターの支援に努めます。